

東伊豆アドベンチャーラリー2017 (アドベンチャーヒルクライム Bike&Run)

■アドベンチャーヒルクライム Bike&Run 優勝者コメント (アドベンチャーラリーにもご参加)

みのっち 三野 正浩さん

ヒルクライムラン&バイク

運営スタッフの皆様が口をそろえて、「坂、きついよ。」の一言。絶対歩くもんかと、闘争心を内に秘め、スタート。2kmを過ぎた頃、「これかー」。亀もひっくり返りそうな激坂が立ちはだかる。気合い・根性だけでぎりぎりクリア。(歩いたほうが速かったかも...)呼吸が全然落ち着かない中、靴を履き替え階段登り。「止まったら楽になるよ。」と、もう一人の自分がささやく。無我夢中で弱い自分を振り切り、なんとか止まることなくゴール!

時折、眼下に広がる雲海、広大な高原、爽やかな風が味方をしてくれた。ものすごくきつかったけど、無性にまた出たいと思うのは私だけ(?)

アドベンチャーラリー

6歳の娘と2人で参加。ゼッケンも「6」。縁起良いかもと思いつつ、ヒルクライムと同じルートを選んで三筋山山頂を目指す。CP5までは順調、CP3は諦め、CP4に向かう。子供には結構厳しいトレイルだなあ、かなりワイルド。でも突っ走るしかない。時に子どもを抱え、なんとかCP4付近の道路に出る。別の家族が探しても見つからないとの情報。絶対この下にあると自分を信じ、探すが見つからない。諦めようとしたその時、下流方向に目をやると...、「あったー！」感動の一言です。

CP7を飛ばし、CP9に向かう。娘が目隠しをし、私の指示でボールを探す。的確に娘が動くので、成長したな一と思ったら、後で、「ちょっと、ボール、見えてた。」と。ズルはしてません。その後、CP1へ。確実に歩みを進め、間違いなくあの丘にCP1があるのは分かったけど、このヤブ行くの?嘘でしょ。自分の身長より高いヤブ漕ぎは初体験。戻ってきたら、案の定半ズボンの脚は無数の切り傷が。ちょっと疲れ気味だった娘も、ゴール間近では笑顔に。手をつないで楽しいレースを終え、「6歳、ゼッケン6番、6位」。縁起の良い結果となりました。

私自身、体力の維持・向上に努めていますが、いつか娘に、「パパ、遅いよー、早く走ってよー。」と言われるのが夢のひとつです。これからも、レースを通して、娘の成長を見守っていきたいです。

キャンプ

テントを購入して初めてのキャンプ。試行錯誤しながらテントを設営。いきなり土砂降りの雨で洗礼を受けた。しかし、2日目の夜は満天の空で、流れ星を20回観測(娘曰く)。終始感動しました。カブトムシ採りツアーにも参加し、妻と次女が虫に怯えつつも、私と長女は最高の時間を過ごしました。花火もやり、今年一番の夏休みの出来事となりました。運営スタッフの皆様は、大変ご苦勞されていることと思いますが、私たち家族の毎年の定番行事になればいいなと企んでいます。最高の思い出を提供していただき、本当にありがとうございました。